



9月定例愛知県議会



■平成 26 年 9 月定例愛知県議会開会



MRJ(三菱リージョナルジェット)はオプション契約も含め 407 機の受注。現在、三菱重工(株)小牧南工場で試験機の製造が進められており来月 18 日に飛行試験初号機がロールアウト、来春には初飛行の予定。今回の 9 月補正(一般会計)にMRJ見学者等の受入体制の在り方検討で 500 万円の予算計上。

9 月定例県議会が 9 月 18 日に開会し、初日に大村知事から一般会計 78 億 5 千万円、企業会計 40 億円の補正予算案、再生可能エネルギー等導入推進基金条例の制定などの条例関係 13 件、その他の議案 17 件が上程されました。提案説明の冒頭、新日鐵住金(株)名古屋製鐵所における火災事故に対して発言がありました。県政を取り巻く最近の状況では、改造内閣の「地方創生」に期待と意欲を示し、MRJ 県のモノづくり産業強靱化スーパー特区、ESD 技能五輪・アビリンピック第 50 回献血運動推進全国大会や海外渡航の成果、また、広島市等の土砂災害に触れ今年度当初予算では土砂災害警戒区域等基礎調査費として前年度約 1.8 倍の予算措置がされているなど報告がありました。(以下抜粋です)

●交通安全条例を制定・緊急交通安全対策の実施

県及び県民の責務を明らかにすると共に、交通安全に関する施策の基本となる事項を定める**愛知県交通安全条例を制定**し、県及び市町村並びに県民、事業者等が一体となって協力し、交通事故の無い社会の実現を目指す。

＜緊急交通安全対策費 県民生活部 約 2 千万円＞

県民総ぐるみ運動の展開、テレビCMによる広報を始めとした交通安全啓発活動の実施

＜交通安全施設整備費 警察本部 約 2 億 54 百万円＞

事故が多発する交差点の標識(2,932 本)・標示(319km)の更新や信号機のLED化(792 本)その他、建設部ではカラー舗装などの交通安全対策費として 9 億円を計上



●危険ドラッグ対策

危険ドラッグが芸能と思われる交通事故等が急増しているため、7 月 28 日に危険ドラッグ緊急対策会議を開催、8 月末には街頭キャンペーンも展開(愛知県一宮保健所区域では稲沢まつり会場で実施)しているが、危険ドラッグを販売する者等への立入検査権限を警察職員に付与する等監視及び指導の強化のために**薬物の濫用の防止に関する条例の一部を改正**。



●国土強靱化地域計画の策定に向けた取組

本県は名古屋市と共同で、国土強靱化基本法(強しなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法 平成 25 年 12 月 11 日制定・公布)に基づく**国土強靱化地域計画の策定モデル調査団体**として選定されたことに伴い、知事を本部長とする**愛知県地域強靱化推進本部**等を設置し、計画策定に向けた調査・検討を実施(約 9 百万円)、今年度末に案の作成、来年度以降に計画の策定予定。

●愛知県いじめ問題対策委員会及び愛知県いじめ問題調査委員会条例の制定

昨年 9 月施行のいじめ対策推進法に基づき、県立学校におけるいじめ防止等の対策を実効的に行うため**愛知県いじめ問題対策委員会(教育委員会附属機関)**及び**再調査(私立にも対応)**のために**愛知県いじめ問題調査委員会(知事附属機関)**を設置。

STEP 21 県政 REPORT





【建設委員会一宮建設事務所管内調査】

建設委員会の県内調査が行われ地元議員として出席。管内 5 市 2 町の人口は約 80 万人(県全体の 11%)、今年度事業費約 198 億円。



【日本再興戦略から地方創生へ】

元経産省大臣直嶋参議院議員の事務所同期の中村県議(豊田市選出)と経産省大臣官房審議官から人口減少下での地域経済再生・5 つの戦略(地方創生)を伺う。まち・ひと・しごと創生本部の場を通じ、地域の産業集積の競争力向上、地域発ベンチャーの創出、地域サービス業の生産性向上・市場創出、地域のブランド化、生活サービスの確保と地域経済圏の再構築の 5 つの戦略を展開。



【稲沢夏まつり&危険ドラッグ根絶キャンペーン】

稲沢夏まつりの開会式が稲沢グランドボウルで開催、24 時間テレビ生中継の中、ギネス認定 116 レーン一斉に始球式。稲沢 JC はじめ実行委員会の皆さんに感謝です。また、午前中には連合愛知尾張南地協稲沢地区のファミリー大ボウリング大会に、夕方には危険ドラッグ根絶キャンペーンに稲沢 LC の担当委員長として出席。市民クラブの魚住、星野、遠藤、木全の各市議、駐車場を提供頂いた公明党の加藤孝秋市議にも参加頂きました。



【稲沢市総合防災訓練】

稲沢市総合防災訓練が平和中央公園他で実施。午前 8 時のシェイクアウト訓練を皮切りに関係機関や地元の皆さんに参加を頂き各種訓練が行なわれ、平和町プールでは初めての住民参加による救命ボート避難訓練も実施。鈴木が所属している防災ボランティア稲沢の皆さんは社協他の方と災害ボランティアセンター設置訓練に参加。



■愛知県議会タイ王国訪問

愛知県議会タイ王国訪問団(岩村団長以下 7 名)として平成 26 年 9 月 8 日から 11 日(早朝帰国)、タイ・バンコクを訪問。知事、議長と共に愛知県とタイ工業省との経済連携に関する覚書調印式への出席をはじめ、タイ進出企業との意見交換会、チュラロンコン大学・在タイ日本国大使館訪問、県の農林水産物・加工食品の販売促進「愛知フェア in タイ・バンコク」の視察、県主催の経済交流会に参加。名古屋商工会議所岡谷会頭、中部経済連合会三田会長、中部国際空港川上社長など経済界や関係機関の方々と共に友好を深めました。



鈴木です

タイは人口 6,550 万人、面積は日本の 1.4 倍。バンコクは人口 1,200 万人、面積は本県の 3 割、通貨はパーツで 1 パーツ 3.6 円程度。



- 9 月 28 日障害者スポーツレクリエーション大会
- 10 月 7 日戦没者追悼式
- 11 日サンドフェスタ開会式
- 12 日消防団観閲式
- 18 日稲沢まつり祈願祭・開場式

STEP 21



タイ王国との経済交流会の日本酒の試飲に祖父江の内藤酒造さんも出展



タイでは食器の片付けなど自分のこと
は自分でが普通で、共働きでは
外食も普通、家政婦さんも普通に頼むようです。WC も男女とも同じ赤色サインで男女の壁が低いように感じます。ホテルでは錦織選手の試合が見られず残念でした。未来へつづくまじつくりへ 一生懸命動きます。 愛知県議会議員 鈴木じゅん